

サンクテラス

取付説明書 — 前柵側出幅違いタイプ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明柵)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- この取付説明書は、前柵側出幅違いタイプの取付内容について説明します。
- サンクテラス本体の施工は、サンクテラス取付説明書(Z109、Z110、Z114)で、施工してください。
- 端部垂木連結カバーの切断寸法は、サンクテラス本体の上止めタイプと、下止めタイプで、寸法が異なります。
- 連結部に必ず躯体の柱・間柱などの構造材がくるように、位置を確認してください。
- 施工手順は、下記の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
前柵側出幅違い用の部材切断加工	・サンクテラスー前柵側出幅違いタイプー	Z129
垂木の取付け、連結キャップの取付け	・サンクテラスFタイプ ・サンクテラスー前柵側出幅違いタイプー	Z109、Z110、Z114 Z129
本体施工	・サンクテラスFタイプ	Z109、Z110、Z114
端部垂木連結カバーの取付け	・サンクテラスー前柵側出幅違いタイプー	Z129

2. 部材の加工

2-1 端部垂木連結カバーA、端部垂木連結カバーBの切断

表2-1 サンクテラス上止めタイプの切断寸法

部材 出幅	端部垂木 連結カバーA	端部垂木 連結カバーB
3尺	793	793
4尺	1097	1097
5尺	1402	1402
6尺	1707	1707
7尺	2011	2011
8尺	2316	2316
9尺	2620	2620
10尺	2925	2925

表2-2 サンクテラス下止めタイプの切断寸法

部材 出幅	端部垂木 連結カバーA	端部垂木 連結カバーB
3尺	792.5	792.5
4尺	1097	1097
5尺	1401.5	1401.5
6尺	1706	1706

- ① 表2-1、表2-2から端部垂木連結カバーAと、端部垂木連結カバーBの切断寸法を確認して切断してください。

2-2 端部垂木連結カバーA、端部垂木連結カバーBの加工

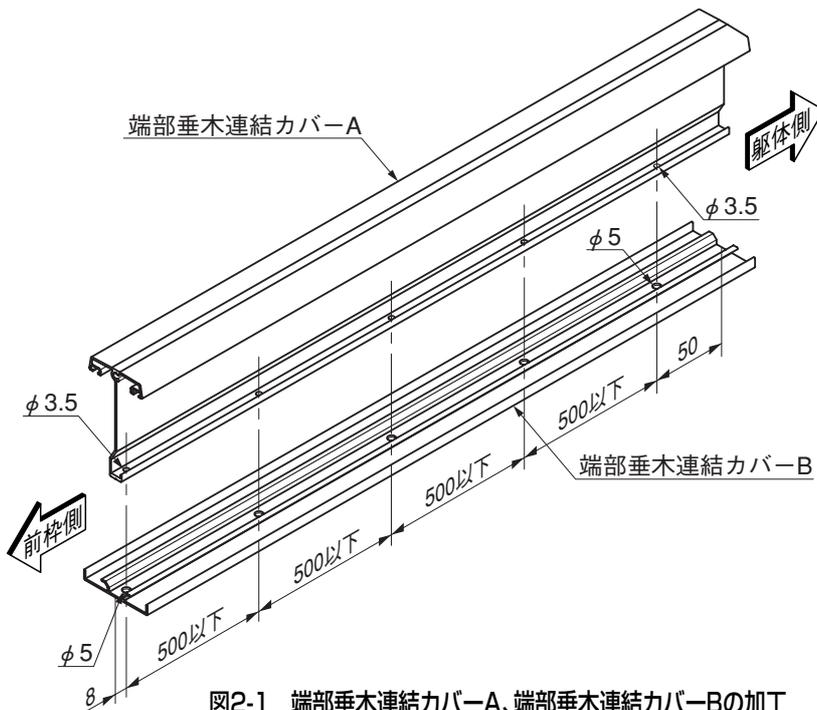
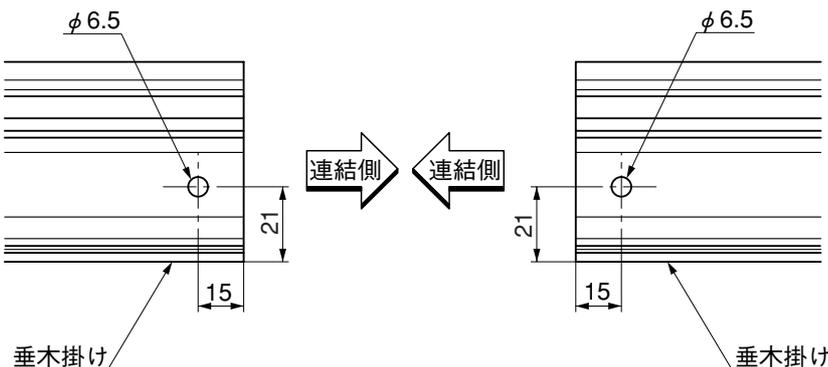


図2-1 端部垂木連結カバーA、端部垂木連結カバーBの加工

ポイント

- 端部垂木連結カバーA、端部垂木連結カバーBは、重ね合わせて取付けますので、φ3.5の穴と、φ5.0の穴は同じ位置に合せてください。
- ① 図2-1のように、端部垂木連結カバーA、端部垂木連結カバーBの前枠側の端部から8mm、躯体側の端部から50mmの位置にφ3.5の穴と、φ5の穴をあけてください。
 - ② 2つの穴の間の寸法を測ってください。
 - ③ 2つの穴の間に、φ3.5の穴と、φ5の穴を500mm以下のピッチであけてください。

2-3 垂木掛けの加工

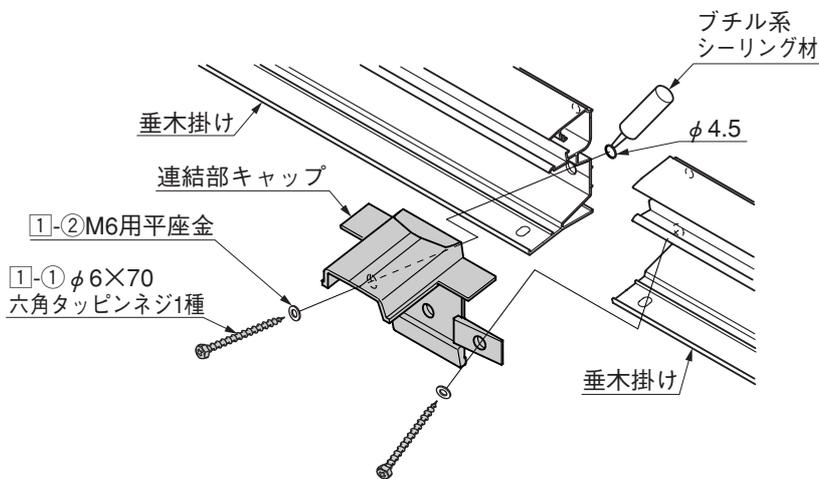


- ① 図のように、垂木掛けの連結側正面にφ6.5の穴をあけてください。

3. 連結キャップの取付け

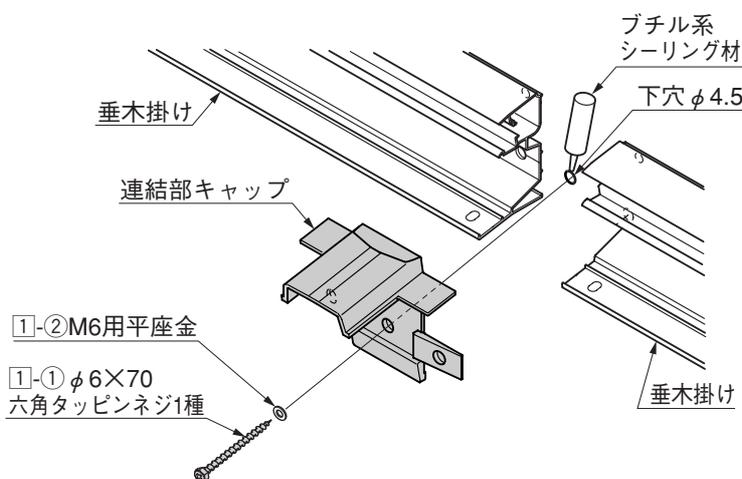
※「サンクテラスFタイプ取付説明書(Z109、Z110、Z114)」で、垂木掛けの一方を取付けた後の作業です。

3-1 連結部キャップの取付部が柱の場合



- ❶ 躯体に取付けた垂木掛けに、連結部キャップを合せて、もう一方の垂木掛けの取付け位置を決めてください。
- ❷ サンクテラス取付説明書(Z109、Z110、Z114)にしたがって、垂木掛けを躯体に取付けてください。
- ❸ 垂木掛けの連結部に連結部キャップをかぶせて、連結部キャップの左右の2つの取付け穴から躯体にφ4.5の穴をあけてください。
- ❹ φ4.5の穴にサンクテラス本体同梱の、ブチル系シーリング材でシーリングしてください。
- ❺ 連結キャップを1-2、1-1で固定してください。

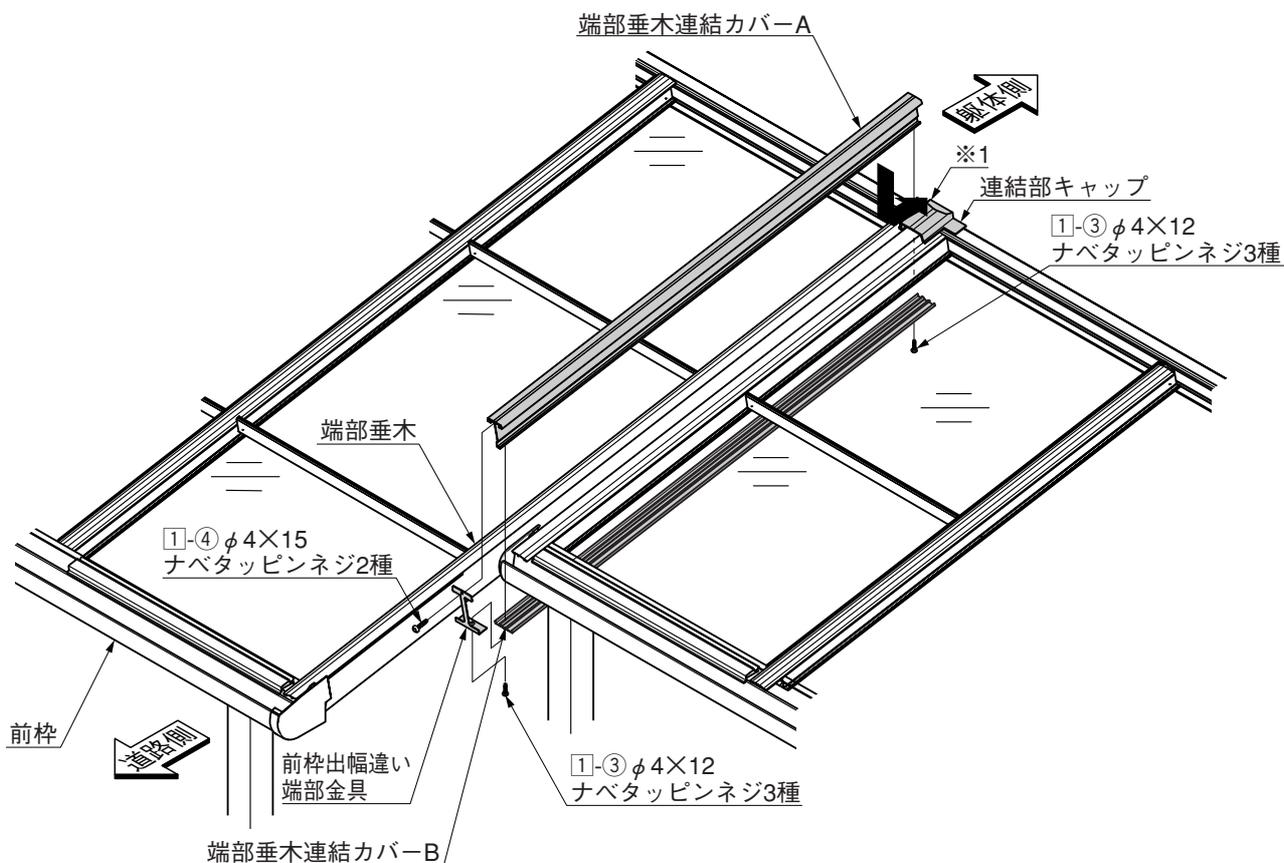
3-2 連結部キャップの取付部が間柱の場合



- ❶ 躯体に取付けた垂木掛けに、連結部キャップを合せて、もう一方の垂木掛けの取付け位置を決めてください。
- ❷ サンクテラス取付説明書(Z109、Z110、Z114)にしたがって、垂木掛けを躯体に取付けてください。
- ❸ 垂木掛けの連結部に連結部キャップをかぶせて、連結部キャップの中心の取付け穴から躯体にφ4.5の穴をあけてください。
- ❹ φ4.5の穴にサンクテラス本体同梱の、ブチル系シーリング材でシーリングしてください。
- ❺ 連結キャップを1-2、1-1で固定してください。

4. 端部垂木連結カバーの取付け

※[サンクテラスFタイプ取付説明書(Z109、Z110、Z114)]で、連結する2体のサンクテラス本体を施工した後の作業です。



- ① 端部垂木連結カバー-Aの躯体側を連結部キャップのすき間に差し込んで突きあててください。(※1)

補足

- 端部垂木連結カバー-Aの取付け方向は、図2-1で確認してください。

- ② 端部垂木連結カバー-Bの躯体側を、端部垂木の下から連結部キャップに突きあててください。
- ③ 端部垂木連結カバー-Aと端部垂木連結カバー-Bを、①-③で固定してください。
- ④ 前枠側から前枠側出幅違い端部金具を端部垂木連結カバー-Bの下から合せて、①-③で固定してください。
- ⑤ 前枠側出幅違い端部金具と端部垂木連結カバー-Aを合せて、①-④で固定してください。

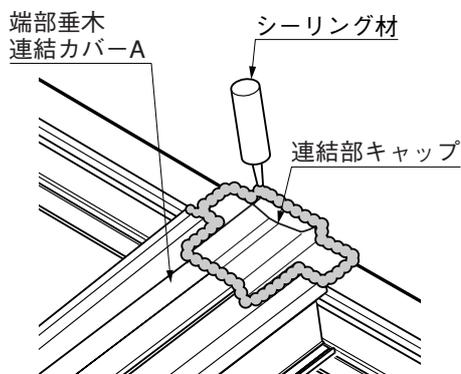


図4-1 シーリング箇所

- ⑥ 図4-1にしたがって、シーリングしてください。

補足

- シーリング材はサンクテラス本体施工で使用した弊社指定のシーリング材を使用してください。

表4-1 指定のシーリング材

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

5. 部材切断加工を計算式で求める場合

補足

- 部材切断加工の寸法は、以下の計算式で算出することもできます。

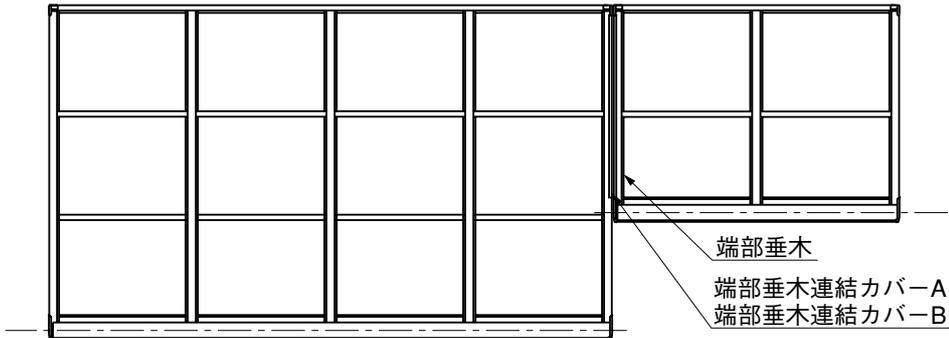


表5-1 サンクテラス上止めタイプの切断寸法

部材名	計算式	記号の説明	備考
端部垂木 連結カバーA	$L=L2-46$	L：端部垂木連結カバーA L2：短い方の端部垂木	「2-2端部垂木連結カバーA、端部垂木 連結カバーBの加工」を参照してください。
端部垂木 連結カバーB	$L=L2-46$	L：端部垂木連結カバーB L2：短い方の端部垂木	

表5-2 サンクテラス下止めタイプの切断寸法

部材名	計算式	記号の説明	備考
端部垂木 連結カバーA	$L=L2-104.5$	L：端部垂木連結カバーA L2：短い方の端部垂木	「2-2端部垂木連結カバーA、端部垂木 連結カバーBの加工」を参照してください。
端部垂木 連結カバーB	$L=L2-104.5$	L：端部垂木連結カバーB L2：短い方の端部垂木	



取説コード
Z129

200309A_1001